

上段の丘



一関市立川崎中学校 学校だより
令和8年1月27日 第40号
文責 校長 齋藤 真

人権作文コンテスト 海空さん、協議会長賞受賞

1月21日（水）、水沢人権擁護委員協議会の人権擁護委員である三浦さんと後藤さんがいらっしゃって、人権作文コンテストの賞状をいただきました。受賞したのは2年生の永澤 海空さん。協議会長賞という名誉ある賞に選ばれました。「これからも人権についてしっかり考えていきたいです。」と述べた海空さん。おめでとうございます。この際に併せて、川崎中学校から多くの人権作文を応募したことに對し、感謝状をいただきました。記念品としてサッカーボールもいただきました。みんなで大事に使っていきましょう。



ひとのためになることを、ひとつ



令和8年になってから、意識して取り組んでいることがあります。それは、毎日「ひとのためになることを、ひとつ」することです。ひとは、家族、生徒、先生方、その日に会う人…と誰でもいいのですが、そのひとの助けになったり、役に立ったり、手伝ったりできるよう、ひとつ行動を起こすことにしています。その際大切にしていることは、「してあげる」という上から目線の行動ではなく、「してあげたい」という相手意識のある行動にするということです。

1日の終わりに「ひとのためになることを、ひとつ」を考えた時、誰かの助けになったり役に立てたかと行動を振り返ったり、そのひとが良い表情をしてくれたことを思い出して嬉しくなったり、「してあげる」という傲慢・自己満足な気持ちはなかったかと反省したりと、様々な価値ある思いが自分の中に巡ります。

もし皆さんが同じように、家族のため、友達のために「ひとのためになることを、ひとつ」を実践してくれたなら、毎日53の「ひとのためになること」が生まれます。それはとても素敵なことだと思います。